

平成 2 8 年 第 1 回 定 例 会 一 般 質 問

質 問 者	質 問 事 項 及 び 要 旨	質 問 の 相 手
松 屋 治 郎	<p>養寿園前防波堤壁画の修復について</p> <p>この壁画は、野外活動や社会参加活動によるふれあい体験をすることを目的に「のびのび少年デー」が設けられ、小学生と熟年大学の交流が始まり、お年寄りから小値賀に伝わる昔話や昔遊びを教えてもらった御礼として描かれたもので、おもいやり、優しさ、協力、協働、絆等さまざまなことが詰まった壁画で、「海中公園」と名付けられたものです。</p> <p>この壁画について、町長、教育長に感想を伺い、また町長に</p> <p>①この子どもとお年寄りの温かい交流の証である「海中公園」を修復、復元をする考えはあるのか。</p> <p>②現在増設中の養寿園前の堤防に華を添える「増画」する考えはないか。</p> <p>以上、2点について伺います。</p>	町 長 教 育 長
浦 英 明	<p>一般財団法人小値賀町担い手公社の事業内容と運営について</p> <p>農業振興の一環として、将来農業で自立を目指す農業後継者や新規就農希望等を受け入れて、農業技術や経営手法等の研修を実施することで、農業の担い手の育成確保等を目的に、(財)小値賀町担い手公社を平成 12 年度設立し、平成 25 年には、一般財団法人に移行し現状に至っています。</p> <p>担い手公社では、小値賀の特産品である落花生等を中心に様々な商品開発に取り組んでいます。</p> <p>今後、修学旅行生、世界遺産等で観光客が数多く訪れて、土産物等が数多く必要になってくるものと思われます。また、ふるさと納税の返礼品としても必要ですので、機能を十分に発揮され、生産から販売まで確立されることを期待して、次の点について質問します。</p>	町 長

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 定款第4条の10号は、農水産物の加工及び販売事業を謳っており、アワビ館もこの中に入っていると思いますが、この中に入れた理由と、今後の展開を伺う。 2. 定款第4条の11号は、その他必要な事業を謳っており、この中に、牛飼事業の研修も入るとありますが、以前、研修をした人が途中でやめた理由と、今後同様の人たちが多頭飼いを希望すると仮定した場合の、キャトルステーションの利活用は、どのように考えているのか伺う。また、牛温恵の補助等は考えてないのか伺う。 3. 土産物策として、落花生関連、トマトジャム、菓子等を製品化しているようだが、その実績（数量販売等）と今後の展望を伺う。 4. 製品化するまでの施設として、農産物加工場を計画しているようだが、建設場所、面積、事業費、完成予定年月日を伺う。 5. 落花生の殻むき等に、お年寄りが携われるようなシステム（シルバー人材センター）等の構築ができないか伺う。 6. 担い手公社の補助金は毎年2,000万円近く出しているが、その算出根拠と用途を伺う。 7. 露地物、ハウス物、牛飼等等の指導は、どのようにしているか伺う。 	
横山弘藏	<p>教育振興について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育長に就任して6ヶ月経過しているが、教育委員会制度が変わり、第一義的な責任者が教育長であることが明確になった今日、新教育長としての抱負を伺う。 2. 昨年、教育委員会制度が変わって、当町においても町長が招集する総合教育会議が設置されたと思う。 これからの教育振興基本計画、教育大綱などの話し合いはなされたのか伺う。 3. 高校存続、離島留学制度等の問題について、どのような思い、考えをもっているのか伺う。 	教 育 長

末 永 一 朗	独居老人対策について 本町においては、高齢化率も 45.1%で独居老人も 331 名余り となっています。 独居老人ベル等の施策は行われているが、万全ではないと考 えます。 孤独死を防ぎ、孤独死ゼロにする施策はないのか伺う。	町 長
---------	--	-----